

17 DPC データと検査値の統合データを用いた臨床疫学研究

康永 秀生

大規模診療情報データベースの研究利用が普及しつつあるが、データベースには検査値等の詳細な臨床データが集積されないことが多く、情報の妥当性も懸念されている。本研究では、国立病院機構において既存の DPC データに SS-MIX2 規格を用いて検査値データを追加した。施設のカルテとの比較により妥当性を検証した上で、その応用可能性について検討した。DPC の病名データは感度は低かったが特異度は高かった。DPC の処置データおよび SS-MIX2 の検査値データはカルテ情報を正確に反映していた。データベース上での重症敗血症および播種性血管内凝固の特定について、検査値を基準として処置情報を用いた方法と病名を用いた方法を比較したところ、前者が高い感度を示した。新たに検査値を加えたデータベースの妥当性と応用可能性が示され、今後のデータベース拡大に伴いより高いレベルの研究利用が期待される。

DPC 病名データ、DPC 処置データ、SS-MIX2 検査データの妥当性

疾患名	感度 (%)	特異度 (%)	処置名	感度 (%)	特異度 (%)	検査名	一致率 (%)
心筋梗塞	52.2	99.7	尿検査一般	98.6	98.3	WBC	98.4
うっ血性心不全	68.8	97.5	尿沈渣	97.1	99.3	Plt	98.1
末梢血管障害	34.5	99.3	細菌顕微鏡検査	91.4	100	Hb	97.5
脳血管障害	50	98.9	細菌培養検査	97.1	100	PT-INR	97.8
認知症	37.5	100	呼吸心拍監視	66.7	92.2	Na	98.7
慢性呼吸器疾患	33.3	96.9	SpO2測定	21.1	88.5	AST	98.4
リウマチ性疾患	57.1	99.7	X線撮影	97.5	99.4	T-Bil	97.8
消化性潰瘍	33.3	96.7	CT撮影	100	99.5	Cre	99
軽症肝疾患	36.4	98.3	点滴注射	72.7	98.7	T-Chol	98.7
糖尿病(合併症なし)	52.2	96.7	尿カテテル	65.5	97.2	CRP	97.1
糖尿病(合併症あり)	29.4	99.7				Glu	95.9
片麻痺・対麻痺	0	100				HbA1c	98.4
腎疾患	53.3	99.3				BNP	98.4
悪性腫瘍	83.5	97.7					
中等症以上肝疾患	50	100					
転移性腫瘍	58.5	98.5					